

まつのま

発行/松之山町会3131 企画・編集/町会事務局

81/5 No.70

人口のうき	56,511
合計 5140人	(△156)
男 2509人	(△91)
女 2631人	(△65)
世帯数1420世帯	(△19)
() 内は前年同月比	

出番が あつては 困ります

私たち町民にとって、長年の夢であった消防分遣所が4月1日湯山に完成し業務を始めました。

ここには、消防自動車、救急車、それに広報車がそれぞれ一名ずつ備えてあり、所長さん以下九名の隊員が半分づつ交代で勤務しています。

分遣所では、非常事態が発生したら、まず落ちついて次の要領で知らせしてほしいとのことです。

〔火災のとき〕

①場所(部落・屋号)、附近の目撃物(具体的に)②燃えているもの(建物・山野・車輦)

〔救急のとき〕

①場所②目撃物(いずれも火災と同じ要領)③病人か事故か④その様子

なお、緊急のほか(火災発生場所などの問合せなど)は、一般電話(2330番)をご使用いただきたい、とのことでした。

火災・救急車の要請…☎119番・一般のご用は…☎2330番

この4月からお世話になっています……………先生の異動(順不同)



松村校長先生
(松里小)



和田校長先生
(二番小)



中村校長先生
(瀬田中)



田中校長先生
(松里小)



山田校長先生
(二番小)



川合校長先生
(瀬田中)



佐藤校長先生
(瀬田中)

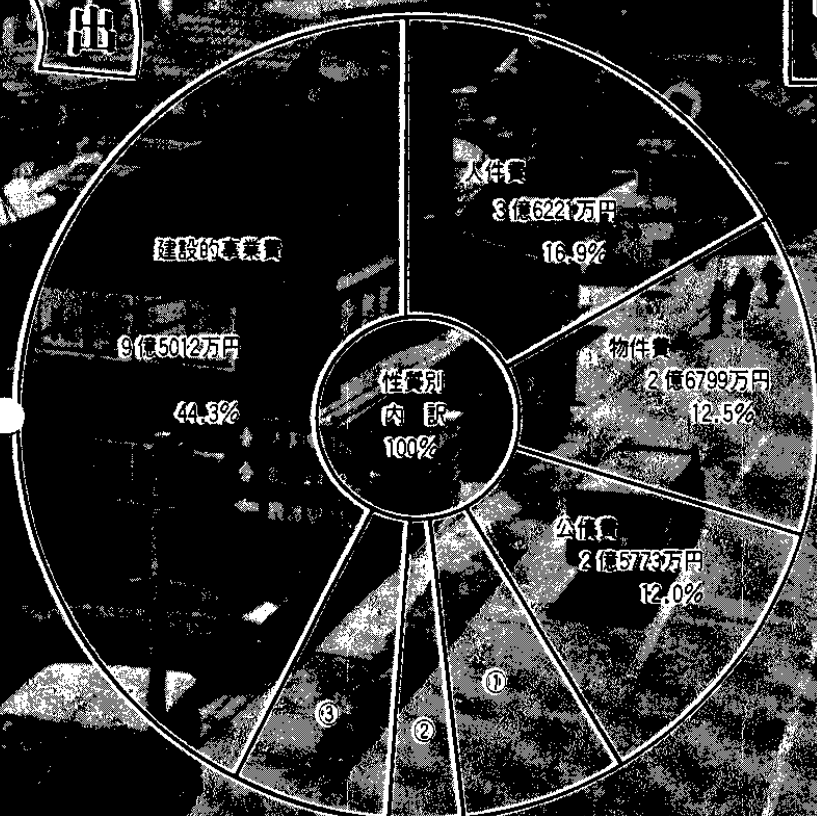
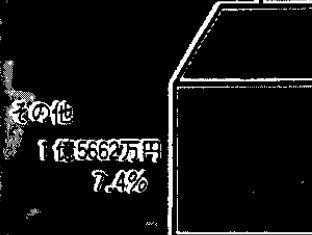
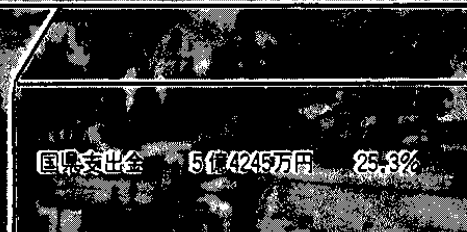
「ぼく、わたし」の願い その中から21億円です

…ことしは21億4559万8000円の予算で仕事を始めました…



人件費・物件費で2.7%減
建設事業3.0%増

対前年比



- ① 補助費など 1億4161万円 6.6%
- ② 扶助費 6347万円 3.0%
- ③ その他 1億248万円 4.7%

借入金1.2%の減
歳入に占める対前年比



八木先生
(松之山小)



町田先生
(松之山小)



津端先生
(松之山小)



山岸先生
(松之山小)



志村先生
(黒倉分校)



本郷先生
(三省小)

教養と 文化の町づくり

教育費

1億7610万円
8.2%

▷高校の教員住宅「松山寮」の外壁が傷み、塗装をします。

108万円

▷教材用備品を充実し、教育効果をより一層高めます1124万円

▷恵まれない児童や生徒に学用品を支給するなど子供たちに均衡ある義務教育を施します。

685万円

▷学校給食を推進し、子供たちの発育に必要な献立に努めます

374万円

▷婦人学級、高齢者教室など各種講座を開催して、成人者向けの教育向上に努めます1376万円

312万円

▷町民体育大会を開催するほか学校開放に併せ、スポーツを通じて健康づくりに努めます。

389万円

▷町民体育館に剣道用具、テニス練習セットを備え、昼夜ご利用いただきます。

527万円

▷町民グランド造成工事は、ことし盛土部分の水ぬき工事などを行います。

361万円

心身を よりすこやかに

常設保育所を
布川に
新築します

民生費

1億8555万円
8.6%

▷ミニコロニー「かなやの里」(上越市)で体育館を建設する負担金として。

30万円

▷心身・重度精神障害者の方に町単独で医療費を助成します。

166万円

▷3つの常設保育所を開設し、遊具などを整備して、健全な幼児保育を図ります。

4732万円

▷布川へき地保育所は、ことしが最後の見込みです。

632万円

▷来年からは新しく常設施設として生れかわります。

4228万円

▷老人医療費の支給が好評です。

4644万円

▷しかし、健康であることが何よりです。おとしりの方に健康診査を実施します。

95万円

▷老人ホーム「いなほ園」の増改築、糸魚川に特別養護老人ホーム建設合わせて64万円負担します。

▷老人いこいの家「松寿荘」は冬期間閉鎖することになりました。

162万円

健康で

快適な毎日を

衛生費

8683万円
4.0%

▷死亡原因を統計でみると、高血圧疾患が圧倒的に多いことから「食生活の改善」を図りながら保健事業を推進することになりました。

115万円

▷健康な生活を送るには「良質な水」が欠かせません。簡易水道の普及に努めます。

1800万円

▷国保財政と診療所運営の均衡を保ちながら医療行政を進めます。(松之山診300万円、浦田診600万円繰出)

▷循環器、成人病はじめ今までどおり検診を計画します。

941万円

▷部落ぐるみで、下水などの消毒を行った場合薬品代の半額を補助します。

275万円

▷赤ちゃんは、町にとっても「宝もの」です。妊産婦の医療費を助成するほか、母子の健康管理に努めます。

254万円

▷毎年60人程度の死亡者が出ています。火葬場運営費

▷単なる「ごみ」も、かなり金がかかります。ことしは、収集車を更新し、能力を倍にします。

310万円

▷昨年一年間に当町分ゴミ815トン、し尿985を処理した処理施設の運営費など

1954万円

町づくり

過疎化が進む中で、昭和56年度の事業が始まっています。ことしの予算は、昨年に比べ一般会計が2億3700万余り増えて、特別会計を合わせると、29億8638万9000円となります。ことしも、新規、継続などの事業を行います。主な事業・工事は次の場所で行います。



生産を高めるために

農林水産業費 5億2565万円 24.5%

▷55年度からスタートした仲人報償金制度、1人でも多くの方をお願いします。 40万円
▷農業共済会計繰出金 330万円
▷耕土培養資材、カメ虫防除薬品代に補助します。 432万円
▷畜舎建設補助をするほか、牧場の整備に努めます。1353万円
▷松之山町農協が主体となって、光間に育苗ハウス（50㎡規模）を建設するほか、トラクターなどを備えます。 3144万円
▷水田利用再編対策に取組み、畑作振興のため浦田農協にトラ

クターを配備します。 515万円
▷曾根に集落センターを建設し地域発展に寄与します1463万円
▷自然休養村事業の補足事業で忠魂山附近を整備します。 9650万円
▷新林構の測量設計に着手するほか、林道開設、改良、舗装を続けます。 1億 340万円
▷町単基盤整備ほか、いろんな制度を活用してホ場、農道など生産基盤の整備を図ります。 2億1774万円

帰ってきたくなる



戸谷 塚先生
(松之山小)



村山 先生
(松之山小)



柏山 先生
(松之山小)



香月 先生
(清田中)



古川 先生
(松之山中)



小川 先生
(松之山中)

町営住宅の建設

主 5億1411万円
費 24.0%

▷道路台帳を引続き整備し、現状を把握します。 330万円

▷町道維持管理費 1727万円

▷改良、舗装を合わせて、13路線4588mを行う予定です。

改良	巴之下線	320m
	枋倉線	340m
	水梨黒倉線	300m
	三省校大荒戸線	325m
	藤原松之山線	400m
	松代松之山線	300m
	松口松之山線	350m
	西之前北浦田線	150m
舗装	蝦池宮中線	502m
	橋詰猪之名線	695m
	三省校大荒戸線	386m
	崩田田麦立線	420m

このほか、豊田地区の改良を直営で100mほど工事します。

3億2772万円

▷除雪用のタイヤドーザを購入し、冬期間の交通を確保するほか、これらの運営費 4366万円

▷町営住宅を初めて建設します。(鉄筋造でアパート形式。8世帯が入れます) 8069万円

▷県道を改良や舗装してもらうための負担金 800万円



国民健康保険

5億9455万円

〔国民健康保険事業勘定〕

事業運営の土台である国保税は歳入全体の構成比で見ると26%弱で、国庫支出金が55%とその半分以上を占めています。

「国保税が高い」という一般的な声を素直に受け、ことし100万円だけ減税することになりました。

歳出では、助産費を2万円引上げて10万円にし、宝（子供は町にとっても宝です）の増産に期待します。

その他、へき地医薬品の配布や高額療養費支給など医療給付も続けます。

〔松之山診療所勘定〕

X線テレビ、心電図解析機など最新の医療機具を備え、みなさんの病状治療に努めます。

〔浦田診療所勘定〕

昨年新しい先生の着任を得て職員ともどもが、地域の発展、町の医療行政充実に頑張っています。

簡易水道 2億91万円

▷湯本と湯山の管理を地域の方をお願いすることにしたほか、水質試験を毎月1回行い、きれいな水をご使用いただくよう努めます。

▷浦田の藤原と曾根の一部、黒倉に簡易水道を建設します。1億7027万円の工事費です。

農業共済 4534万円

ことしの事業概要は、水稻1,411戸、70,700アール。家畜95戸350頭。養蚕3戸、30箱の引受けをし、損害防止事業として農業散布機具に50%の補助などを続けます。

地元商工業の発展をめざし

商工費 2280万円
1.1%

▷商工会館建設に補助し、地元商工業の発展に努めるほか、育成資金の貸付額を200万円増額しました。1588万円

▷ハングライダーの着地点を整備し、マニアに呼びかけます。2万円

▷観光ポスターを製作するほか観光協会と歩調を合わせながら力を注ぎます。620万円

▷静かで自然に恵まれた「桃源郷」を夢みて浦田地域に温泉掘削の準備をします。45万円

借金上手はやりくり上手

公債費 12.0%

▷借入金の返済では、ことしから新たに元金分9件、利子分12件が始まります。前からのものを合計して

元金分 1億2422万円

利子分 1億3291万円

出稼者への福祉向上

労働費 0.6%

▷景気が低迷し、出稼ぎされる方は大変です。ことし新たに雇用開発協会に加入し、福利厚生はじめ、一層の充実強化に努めます。983万円

災害が後を断ちません

労働復旧費 1.3%

▷農地など関連施設の災害復旧工事を、藤倉、天水越、水梨地域内で行います。2603万円

議会運営などに

議会費 4333万円
2.0%

▷議員報酬、議員共済会負担金はじめ議員の給与など議会を運営していく経費に 4333万円

行政サービス向上に

防雪センター新築(大荒戸)

総務費 2億625万円
9.6%

▷自動車1台（ジープ）が古くなり更新するほか、便所を使い易く修理します。190万円

▷浦田克雪センター運営費 248万円

▷固定資産税事務電算委託料 301万円

▷冬期保安要員の方30人を採用します。1280万円

▷大荒戸に防雪センターを建設し、雪上車1台を配備します。2508万円

あなたです、

「火事を出すのも防ぐのも

消防費 8266万円
3.9%

▷団員報酬を500円引上げて、6500円としたほか、僅かずつ増額しました。408万円

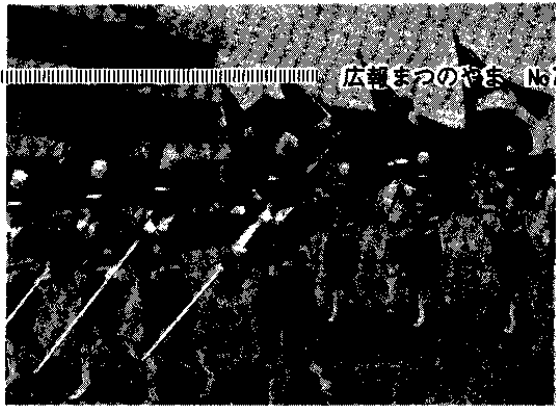
▷上越地域消防事務組合の運営負担金 4400万円

▷役場に配置した消防自動車を更新するほか、用具も新調します。927万円

▷防火水槽をことしも5基建設します。1214万円

▷消火栓設備に補助します。264万円

県警音楽隊が温泉まつりに



ことしの「温泉まつり」には県警察本部の音楽隊の方がたが来町し、交通安全パレードを行ってくれます。

一行は、隊員が二十八名、バトンガール七名の三十五人編成です。これまでに老人ホームなど福祉施設の慰問はじめ、屋外演奏会を行ったりして、県民の情操を高めてきました。

演奏できる曲目は六百曲にものぼるそうで、当日はその中から私たちの知っている曲を中心に演奏してくれることでしょう。

成人病のみにちしき

〔動脈硬化〕

「人は血管とともに年をとっていく」といわれています。私たちはだれでも年をとるにつれて、自然と体にさまざまな変化が起ってきます。

栄養分といっしょに、コレステロールとか中性脂肪とかいう物質も血管を通過し、血液の中に適正に保たれていますが、年をとるにしたがって、血管の壁にたまっていきます。この状態がひどくなると、動脈壁は厚くなり、弾力性がなくなり、もろくなって内腔もせまくなってきます。

血圧と動脈硬化とは深い関係にあり、血圧の高い人はたいていの場合動脈硬化があり、したがって、動脈硬化のある人はだいたい高血圧です。

〔脳卒中〕

脳の動脈が破れたり、つまったりして起る発作のことで、破れると脳出血となり、つまると脳硬塞となります。この二つは症状がよく似ているので、合わせて脳卒中ともいいます。

脳卒中を起しても助かった場合は、いわゆる「中風」という状態になり、手足のマヒが後遺症として残ったり、ときには知覚障害や精神障害をきたしたりします。このため、「リハビリテーション」といって、機能回復のためのいろいろな方法が講じられています。

〔脳出血〕

文字どおり、脳の動脈（細い動脈）が破れて、血液が血管のまわりへ流れ出る状態をいいます。

こうなると、脳の神経も障害を受け、もし大出血であれば、突然意識を失って倒れ最悪の場合にはそのまま亡くなることもあります。助かっても半身不随や言語障害などを残す場合がかなりあります。

〔くも膜下出血〕

脳の表面をおおっている軟膜とその外側のくも膜との間に出血するものです。

原因として多いものは、脳の動脈に小さなコブができそれが破れて出血するものです。突然、激しい頭痛に襲われたときに意識を失うこともあります。手足のマヒはふつう起りません。



滝沢先生
(松里小)



高橋先生
(松里小)



樋口先生
(松之山小)



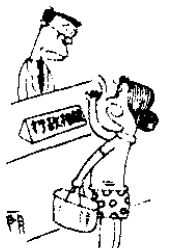
新保先生
(浦田中)



滝沢先生
(浦田中)

みなさんの苦情や要望を

行政改善の手立てに



みなさんの中には、ふだん役所や公団・公社などが行っている仕事について、苦情や要望、意見をもちの方がおられると思います。

たとえば、「ガードレールがこわれたままになっているので登校のとき子供が危くて……」「年金がもらえなくなってしまうが、何かの間違いでなかろうか」

このように住民のみなさんの苦情や要望のひとつひとつに身を傾けて問題の解決に努力し、行政の改善に役立てていこうと

いうのが「行政相談」です。

行政は、わたしたちの毎日の生活といろいろな分野で密接にかかわっています。そのため、できるだけ住民のみなさんの声を行政に反映して、住みよい社会づくりを進めようと、昭和三十年に「行政相談」が始まりました。

以後、相談件数も年々増加し昨年受け付けた行政相談件数は全国で約九十万件にのぼっています。とくに最近では、道路、河川、年金、生活保護、交通安全、公害、登記など、日常生活

と関係の深い問題についての相談が多くなっています。

こうした「行政相談」の制度をより多くの人に知っていただくため、毎年十月に「行政相談週間」を設けていますが、昨年に続き五月十日から十六日までを「春の行政週間」とし、なお一層みなさんの行政に対する「声」をお聞きすることになりました。

相談は、口頭、手紙、電話のいずれでも受け付けています。行政相談は、住みよく明るい社会をつくるための第一歩となるものです。

相談される方のお名前や相談の内容については秘密を守ります。松之山町の相談員は若井千代松さん（小谷・山城屋番3490）です。

告知板

事業所統計調査

七月一日に実施

調査にご協力を

昨年行われた国勢調査とならんで国の最も基本的な統計調査である「事業所統計調査」が七月一日、全国一斉に行われます。

この調査は、昭和二十二年にスタートし、以後三年ごとに行われていたもので、わが国の経済活動の基礎である事業所の実態を全国ならびに地域別に明らかにすることが目的です。調査の結果は、国・都道府県・市町村の行政や経済施策をはじめ、民間では事業計画を立てる際の基礎資料として利用されます。

調査の対象となるのは、会社工場・商店・病院・学校のほか、官公庁・国鉄・私鉄の駅・ホテル・旅館や神社、お寺にいたるまで農林漁家を除く全国六百三十万(町内二百二十五)の事業所です。

この調査は、次の三つの種類に分けて行われます。

〔甲調査〕

民間経営の事業所が対象です。調査事項は、事業所の名称、所在地、経営組織、事業の種類など九項目ですが、会社の本社事業所の場合はこのほかに資本金額など四項目が加えられます。

〔乙調査〕

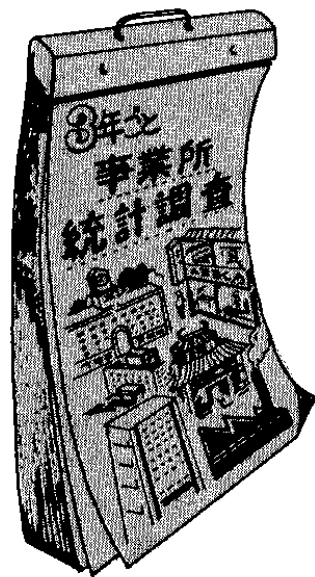
サービス業のうち物品貸貸業(レンタカー業者など)、旅館その他の宿泊所、クリーニング

理容、浴場業、映画館、娯楽業自動車整備業、駐車場業およびその他の修理業が対象で、調査事項は次のとおりです。

〔丙調査〕

国、地方公共団体及び公共企業体の事業所を対象に、事業所の名称、所在地、事業の種類、職員数の項目について調査します。

なお、調査の方法は「甲調査」と「乙調査」は都道府県知事から任命された調査員が、六月下旬からすべての事業所を訪問して調査票の記入を依頼し、七月中旬までに回収します。場合によっては、調査員が、直接聞き取り調査をすることもあります。「丙調査」は、調査員によらず国や地方公共団体および公共企業体の組織を通じて行われます。ご協力をお願いします。



町職員

人事いどう

(4月1日付)

新採用(写真左から)

保坂 輪祐(産業課・農林施設係)

佐藤 仁(住民課・福祉係)

佐藤さとみ(浦田保育所・用務員)

異動

村山 恵一(松之山小・松中)

退職(三月三十一日付)

佐藤 カツ(松之山中・用務員)

滝沢 セン(同 右)



戸籍の明暗

新婚さん

石塚 春一(湯之島・金八)

邨山 充子(藤原・大下)

高橋 正信(天水島・古屋敷)

高橋八重子(天水島・里島屋)

南雲 武(松之山・治助)

滝沢久美子(津南町)

うぶ声

高橋 貴大(東川・信一の二男)

丸山 淳子(藤倉・富雄の長女)

村山 豊和(湯本・文吉の長男)

高沢 喬子(湯本・精一の長女)

村山 咲子(松之山・賢次の長女)

戸枝 聡(小谷・誠の二男)

佐藤 太也(天水越・至の長男)

おくやみ

樋口 嘉一(76)(湯山・大谷)

高橋松太郎(84)(天水島・門七)

相沢 能平(69)(下飯池・山根)

小野塚万吉(82)(本川・向屋)

佐藤 孫七(79)(天水越・栗之末沢)

樋口 国平(75)(中尾・元院)

南雲 静江(79)(西之前・つんね)

石塚 久一(76)(湯之島・久兵衛)

志賀 泰夫(51)(松之山・ますや)

竹内 久吉(60)(坂中・桃屋)

久保田 潔(77)(新田・とおじ)